

高知新聞

須崎工業高等学校

機器や乗り物試行重ね

須崎工高生が研究発表
須崎市

【須崎】学習の成果 船、電気情報、ユニバを住民らに知ってもらいサルデザイン(Uおと、須崎市の須崎D)の4科があり、毎工業高校の3年生が2年、3年生が課題研究日、同市新町2丁目の市民文化会館で課題研究の発表会を開いた。計8組が試行錯誤を重ねたものづくりの過程を紹介し、近隣自治体の中学生ら約800人が耳を傾けた。

各科から選ばれた3〜8人ずつの計8組が登壇し、1人乗りのバギーカー(機械科)や複数のプロペラで飛ぶ「マルチコプター(電気情報科)、避難所ので使える箱形照明

同校には機械、造



(UD科)などの製作過程について、写真や動画を交えて報告した。

木造の和船作りに挑戦した造船科の生徒は

マルチコプターなどが展示された研究発表会(須崎市の市民文化会館)

「しんどい作業もあったけど、無事に完成して達成感があった」と振り返った。同館ロビーには各グループの作品が展示され、来場者が見入っていた。

(山本 仁)

